

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：教職員課  
 担当名：県立学校総務事務担当  
 内線：6823

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p9	県立学校総務事務システム推進事業費(次期)			一般会計	教育費	教育総務費	教職員人事費	県立学校総務事務システム推進費	
事業期間	令和5年度～ 令和6年度	根拠 法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0504	質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-1
1 事業概要	総務事務システムは稼働から10年以上が経過し、データベース管理システムの変更、セキュリティの強化、ブラウザ対応などに課題を持っている。最新技術の活用やさらなるペーパーレス化など、DX推進を踏まえた抜本的な機能見直しを行う。  総務事務システム再構築に伴う設計・開発委託費 △240,545千円			5 事業説明 (1) 事業内容 総務事務システム再構築に伴う設計・開発 232,375千円  (2) 事業計画 ア 知事部局総務事務システムとの統合 イ データベースのクラウド(SPCC)移行 ウ DXに推進による庁内事務の効率化  (3) 事業効果 ペーパーレス化やUI/UXの改善によるシステム操作時間の削減  ア 異動処理・認定手当に係るシステム操作時間の削減 →年間のべ1,100時間程度の削減 イ 事後確認・年末調整に係るシステム操作時間の削減 →年間のべ3,300時間程度の削減 ウ 休暇処理・実績給等に係るシステム操作時間の削減 →年間のべ7,500時間程度の削減  (4) その他 本システムの設計・開発については、令和5年度から令和6年度までの委託契約を締結する。 そのため、本事業の予算については債務負担行為として予算要求する。(総額953,561千円) ア 令和5年度 総務事務システム再構築に伴う設計・開発 472,920千円 イ 令和6年度 総務事務システム再構築に伴う設計・開発 480,641千円  (5) 補正予算の概要 総務事務システム再構築に伴う設計・開発委託費 入札差金の発生による委託料の減額、報償費が執行見込を下回ったことによる減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2=11,400千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△240,545							△240,545	232,375
現計額	472,920							472,920	

## 事業内訳書

事業名	県立学校総務事務システム推進事業費（次期）		
単位事業名	総務事務システム再構築に伴う設計・開発委託費	予算額	△ 240,545千円

### ○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△240,545	—	
合計	△240,545	—	

### ○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△100	—	見込みを下回ったことによる総合評価審査委員会委員謝金の減
委託料	△240,445	—	契約差金が生じたことによる総務事務システム再構築に伴う設計・開発委託の減
合計	△240,545	—	